

## 図画工作科学学習指導案

横浜市立川島小学校  
指導者 永谷 安樹子

1. 日時・場所 平成27年1月28日(水) 第5校時 場所 図工室
2. 学年・組 第6学年2組 30名
3. 「学習の主題」から題材へ

### 「学習の主題」

感じたことや想像したこと、見たこと、伝えたいことから表したことを見付け、効果的に表すことを楽しむ。

A表現(2) 5・6年絵や立体

### 子どもたちの姿

- ・「描きたい」「つくりたい」という自分の思いを素直に表現したり、友達の作品のよさに気づき、お互いに称賛し合ったり、認め合ったりすることができる。
- ・自分の考えや行動に自信がもてず、表現に困り友達と似たものをつくる傾向がある児童もいる。
- ・題材終了まで集中力が保てず、「もういや」と投げやりになってしまったり、急いで雑になったり工夫が足りなかったりする児童もいる。
- ・自分の思いを形や色に表現する経験が少なく、そのよさやおもしろさに気付いていない。

### 教師の願い

- ・手を動かしながら発想する経験を通して、発想を変えたり広げたりしていく面白さを味わっていただけるようにしたい。
- ・自分の発想に自信をもち、自分の思いを形や色で表現するよさを感じて、自分らしい発想を楽しんでほしい。
- ・自分の作品に愛着をもち、ねばり強く作品に向き合う姿勢を身に付けるとともに、最後まで熱心に取り組んだことによって、達成感や充実感を味わってほしい。
- ・出来上がった作品が一人ひとり異なったよさをもっていることに気付いてほしい。

### 題材名

ちよき ちよき ぴたっと 心のアート  
～はさみのダンスで切り出した紙から発想を広げ、心の世界を貼り絵で表そう～

### 題材目標

- はさみを効果的に使って切り出した紙の形や色で、自分の気持ちを貼り絵に表すことを楽しむようにする。
- 自分の気持ちに合う紙を選び、はさみを効果的に使って自分の気持ちを表す形を切り出し、切り出した様々な形からイメージを広げ、形や色の構成を考えながら表したい心の世界を貼り絵に表すようにする。
- 自他の作りつつあるものや作品から、形のおもしろさや色の組み合わせ、構成の美しさを感じ取り、友人と話し合うようにする。

### 題材について

本題材は、はさみで切った色画用紙の色や形をきっかけに発想し、自分の心の中の様子を表現する

活動である。子どもたちは「うつつして見つけたわたしの世界」では、小学校生活を振り返り心に残ったこと、中学校生活への期待や不安といった気持ちなどをスチレン版画で表現した。その際、楽しみ、わくわく、チャレンジといった期待を表す感情は明るい色で丸みをおびた形、不安や心配といった感情は暗い色でギザギザしている形など、表したい気持ちを色と形で表現した経験がある。また、アートカードゲームでは、たくさんの作品から色、形、動きなどに着目して友達と楽しみ感想を交流することができた。これらの経験をもとに、画用紙を好きな形に切って台紙に並べたり組み合わせたりしながら自由に発想を広げ、自分の思いを大切に表現のすばらしさ、楽しさを味わい、自分の発想に自信がもてることを期待する。

#### ○学習の主題にかかわる育む資質・能力と本題材との関連

・色々な曲調の音楽を聴いて感じたこと、想像したことをきっかけに色画用紙を選んで形を切り出していく。その後切り出したものを音楽に合わせて組み合わせる活動を通してことで色、形、画用紙の置く場所で印象が違ってくことに自分の作品や友達の作品を通して気付けるようにする。芸術家の作品や友達の作品を鑑賞して感じたことを話し合ったり、よさを自分の表現に取り入れたりすることは発想や構想の能力を育むことにつながる。

・子どもたちが自分の思い付いたものを切り始めたり、いろいろな切り方を試したりして切ることで自己を楽しむことができるようにする。そのためには、始まりの段階で材料や用具と十分に関わらせ、紙の切り方の指導を行い、これまでの経験や技能を総合的に活かせるようにする。そうすることで、活動への思いをもち続け、想像的な技能を育むことにつながる。

#### ○本題材における【共通事項】についてのとらえ

##### [共通事項]

- ア 自分の感覚や活動を通して、形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴をとらえること。
- イ 形や色などの造形的な特徴を基に、自分のイメージをもつこと。

自分の感覚や活動を通して、切り出した形や色、台紙の色などの造形的な特徴をとらえながら、自分の表わしたい心の世界のイメージをもつ。

#### 4. テーマに迫るための手立て

##### ◎研究主題

### 「使う 深める 活用する情報教育」

～情報活用能力の高まり～

#### ○授業における視聴覚教具の活用

本題材では、自分の気持ちに合う画用紙を選び、はさみを効果的に使って自分の気持ちを表す形を切り出し、切り出した様々な形からイメージを広げ、形や色の構成を考えながら表したい心の世界を貼り絵に表す活動を行う。紙の切り方指導や、効果的なはさみの使い方を行っている児童の手元の操作・作品をテレビや OHC カメラを用いて拡大して見せることで、方法が他の児童に伝わりやすいと考える。また、いきなり「思いついたことを自由に切ってみよう」となげかけても何をどうしたらよいか戸惑う児童が多いと考えられるので、色々な曲調の音楽を聞いて感じたことをきっかけに画用紙を選んだり形を切り出したりできるようにする。その後、音楽を再度聞いて自分のイメージに近い心を表す画用紙を組み合わせる活動を行い、そこでできた作品をデジタルカメラに撮る。

本時の導入では、Windowsムービーメーカーを使い、音楽に合わせて児童の作品を編集したスライドをテレビに流す。映像を通して、曲から感じて表現したものが人によって表現の仕方が違ってくることに気付くことができるようにする。

制作途中の画用紙を一度のりで貼りつけてしまうとのはがすことが難しい。そこで、ラミネートフィルムに画用紙を挟み込み自由に動かせるようにする。制作途中で作品の鑑賞する際には、ラミネートフィルムをOHCカメラにのせて全体で鑑賞できるようにしていく。

#### ○活用の視点

①CDによる音楽の視聴→音楽から感じた気持ちを作品づくりに活かす。

音楽の選曲 ♪朝の気分 組曲「ペール ギュント」第1（グリーグ作曲）

♪オーゼの死 組曲「ペール ギュント」第1（グリーグ作曲）

♪プロムナード～組曲「展覧会の絵」～

♪「GUTS!」（嵐）

♪「Let It Go」（映画 アナと雪の女王）

②テレビ画面での資料の提示

→作品の制作途中・作品を映すことで、作品鑑賞や児童の思いをより伝わりやすくする。

③OHCカメラにより、手元の操作を映す。

→はさみの使い方を伝え、児童が切りだした作品をリアルタイムで見せる。

→作品をOHCに映したらすぐに見ることができるようにピントをあらかじめ合わせておく。

また、ラミネートフィルムを置く場所には印をつけておく。

④デジタルカメラによる記録・保存

→作品の制作過程を記録し、作品づくりに活かす。

⑤パソコン Windowsムービーメーカー

→音楽に合わせて児童の作品を流し、友達の表わしたい心を知ることができるようにする。

⑥ラミネートフィルム

→ラミネートフィルムに切った画用紙を挟み込み完成作品のイメージがもてるようにする。

#### ○出会いの工夫

・感じの違う音楽（ワルツ、行進曲、身近な曲など）を聞いて、感じたことをきっかけにはさみで画用紙を自由に切るようにする。

・抽象的な表現への抵抗感をなくすために、マティスのコラージュ作品に出会うことにより抽象への意味付けについて理解できるようにする。

#### ○場の設定の工夫

・感じたことを表現できるようにするために色画用紙を多量に用意することで、使いたい色を自由に選ぶことができるようにする。

・普段使っているはさみ、ギザギザバサミ、ナミナミバサミを使うことで、切ることに目を向けられるようにする。

#### ○共感的支援の工夫

・表現主題をはっきりと意識させるために、こまめに対話することや学習に関わる掲示物を常に見られるようにすることで、それぞれの表現の意図を引き出せるようにする。



	<p>○マティスの作品を見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「色々な色と形があるね。」</li> <li>・「○○には見えないよ。」</li> </ul> <p>○切った素材は、紙袋に入れて保管する。</p>	<p>○マティスの作品を紹介し、抽象的な形や色に意味があり、それらを構成して表現する方法があることを教える。</p> <p style="text-align: center;"><b>(OHC カメラ テレビ)</b></p> <p>○切ったけれども自分では使わなくなった紙を誰もが使えるように「お宝 BOX」を設置する。</p>
<p style="text-align: center;">3 時  3 / 4 (本時)</p>	<p>○Windowsムービーメーカーで児童の作品を編集した映像を見る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「○○さんは、この部分をこの形と色で表したんだね。」</li> <li>・「この曲とイメージがぴったりの感じがするね。」</li> </ul> <p>○「卒業」という言葉から想像できる自分自身の気持ち・心・思いのイメージを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「中学校の勉強は心配だけど、部活が楽しみだな。」</li> <li>・「卒業は嫌だな。」</li> <li>・「もっとみんなと遊びたいな。」</li> </ul>	<p>○Windowsムービーメーカーで児童の作品を編集した映像を紹介する。</p> <p style="text-align: center;"><b>(テレビ パソコン)</b></p> <p>○一人ひとりの表現主題が明確になるように、「卒業」を前にして今の自分の心にぴったりくるような作品をはさみのダンスで表わすことができるよう班で伝え合う場をもつ。</p> <p>○班で出たイメージを発表させ、全体化する。</p>
<p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">イ 自分の心にぴったりくる感じを表そう。</p>		
	<p>○自分の心にぴったりくる感じを表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・切った画用紙を組み合わせたり、台紙とのバランスを考えたりしながら</li> </ul> <p>①中学校生活に向けての【○○な気持ち・心・思い】</p> <p>②小学校生活の【○○な気持ち・心・思い】</p> <p>③クラスの【○○な気持ち・心・思い】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「明るい紙と暗い紙を交互に並べてみるとどうなるかな。」</li> <li>・「前の作品のこの部分を取り入れよう。」</li> </ul> <p>○途中の作品を紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「この形から、楽しい感じが伝わってきました。」</li> <li>・「この色の組合せがいいと思いました。」</li> </ul>	<p style="text-align: center;">発</p> <p>○つくりながら自分の心にぴったりくる感じを見つけたらよいこと、イメージから作りたいものをつくってもよいことを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回作った作品、友達の作品で参考になるものがあったら取り入れてもよいことを伝える。 (作品を印刷したもの)</li> <li>・自分の表したいこと【○○な気持ち・心・思い】が言えるように、作品をつくるよう声をかける。</li> <li>・作りかけの作品(のりではっていない部分)はラミネートフィルム(スプレーのりした)にはさむようにする。</li> <li>・自分の心にぴったりくる感じが見つかったらり付けしてよいことを伝える。</li> </ul> <p>○友達の作品を見て感じたことを伝え合うようにする。その際、根拠を言うように伝える。</p> <p style="text-align: center;"><b>(OHC カメラ テレビ)</b></p> <p>○後片付け、振り返りと次時予告をする。</p>

4 時	ウ 友達はどんな心を表したのかな。友達の子画のよさや美しさを見つけて伝え合おう。	
	○切った画用紙をはって作品を完成させる。  ○自分や友達の子画を鑑賞し、よさや美しさを見つけて伝え、認め合う。 ・「中学校に行くのが楽しみな感じが伝わってくるね。色使いがいいね。」 ・「不安な気持ちやドキドキしている気持ちを表しているのかな。」	<div style="text-align: center;">鑑</div> ○題名を隠して互いの作品を鑑賞し合う。 ・友達の子画に題名をつけたり、自分がつけた題名と比べたりして、感じたことを伝え合う。

7. 準備

子ども：はさみ、のり

教師：はさみ、色画用紙21色（8つ切り1/4）、台紙21色（8つ切り）、スプレーのり

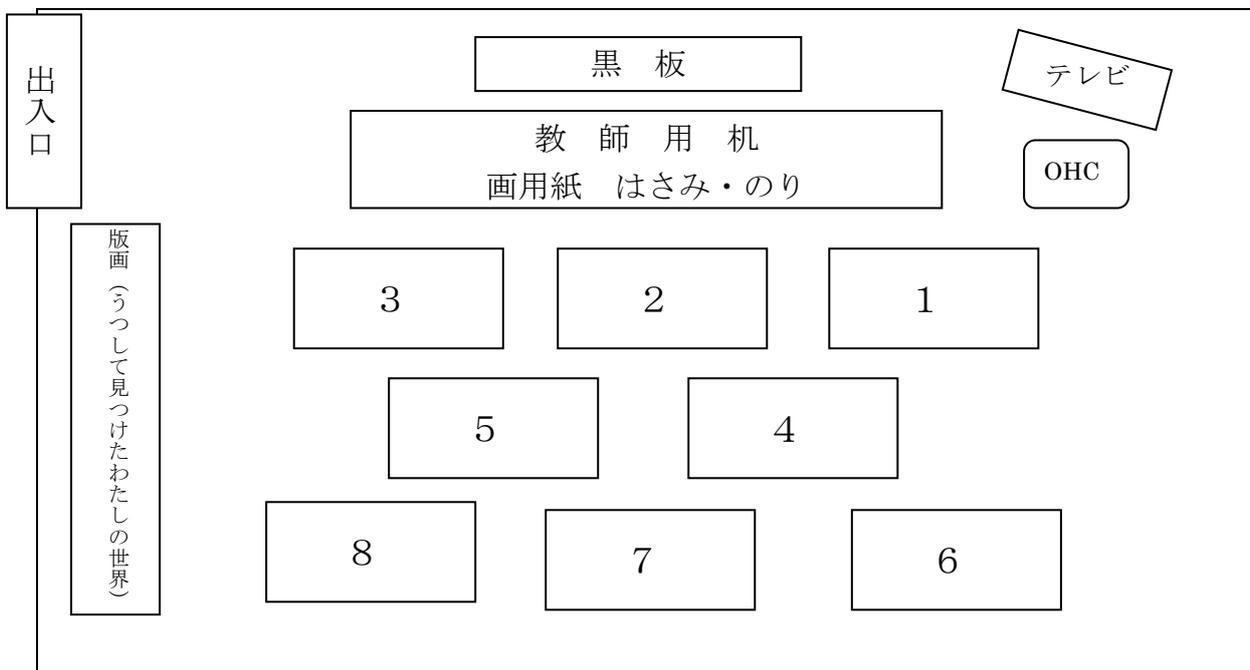
絵本「ミッフィーとマティスさん」 ラミネートフィルム B4 デジタルカメラ

<使用する視聴覚機器>

OHCカメラ テレビ パソコン Windowsムービーメーカー デジタルカメラ

ラミネートフィルム

8. 場の設定 <図工室>



9. 本時の計画 (3 / 4 時)

本時目標：切り出した様々な形や色をもとに、自分の表したい心を表すようにする。

本時展開

子どもの学習活動	具体的評価規準と評価方法	教師の指導
<p>(映像を見る)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「〇〇さんは、この部分をこの形で表したんだね。」</li> <li>・「この曲とイメージがぴったりの感じがするね。」</li> <li>・「みんな曲によって形、色、組み合わせ方がそれぞれ違うね。」</li> </ul> <p>○「卒業」という言葉から想像できる自分自身の気持ち・心・思いのイメージを伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「中学校の勉強が楽しみだな。」</li> <li>・「卒業は嫌だな。」</li> <li>・「もっとみんなと遊びたいな。」</li> </ul>		<p>○前時に児童がつくった作品を Windows ムービーメーカーで編集し、音楽に合わせて映像を流す。</p> <p><b>音楽</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>♪「朝の気分」</li> <li>♪「GUTS!」</li> <li>♪「Let It Go」</li> </ul> <p>(テレビ パソコン)</p> <p>○一人ひとりの表現主題が明確になるように、「卒業」を前にして今の自分の心にぴったりくるような作品をはさみのダンスで表わすことができるよう班で伝え合う場をもつ。</p> <p>○班で出たイメージを発表させ、全体化する。</p>
<p>自分の心にぴったりくる感じを表そう。</p>		
<p>○自分の心にぴったりくる感じを表す。</p> <p>①中学校生活に向けての【〇〇な気持ち・心・思い】</p> <p>②小学校生活の【〇〇な気持ち・心・思い】</p> <p>③クラスの【〇〇な気持ち・心・思い】などを表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「もうすぐ卒業だ。寂しい感じと、楽しみの感じを表現したい。」</li> <li>・「明るい紙と暗い紙を交互に並べてみると、自分の表現したい心に近づいてきたよ。」</li> <li>・「前の時間に切った紙も使おう。」</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>発</b></p> <p>自分の表したい心のイメージを広げたり、つくりたい形や色を思い付いたりしている。</p> <p>(活動の観察・対話・つくりつつあるもの)</p> <p style="text-align: center;"><b>創</b></p> <p>自分の表したい心を表せるように、形や色をつくりたり選んだりしている。</p> <p>(活動の観察・対話・つくりつつあるもの)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前回作った作品、友達作品で参考になるものがあったら取り入れてもよいことを伝える。デジタルカメラで作品を撮ったものを印刷しておく。</li> <li>○自分の表したいこと【〇〇な気持ち・心・思い】を伝えられるように、作品をつくることを声かける。</li> <li>・作りながら自分の心にぴったりくる感じを見つけたらよいこと、イメージから作りたいものをつくってもよいことを伝える。</li> <li>・前時に切り取ってある画用紙を使用してもよいことを伝える。</li> <li>・自分では使わなくなった紙は誰もが使える「お宝 BOX」に入れるようにする。</li> <li>○貼り絵は、貼り付けてしまった後は動かさないため、何度も紙を動</li> </ul>

○友達の途中の作品を見て、感じたことや気付いたことを伝え合う。  
「面白い形や色の組み合わせがいいね。」  
「この部分から〇〇さんは、中学校へ行くのが楽しみな感じが伝わるよ。」  
「〇〇さんの形は自分が作ったものと似ているな。でも、表現の仕方が違うね。」

○学習活動を振り返り、次時の見通しをもつ。  
・「楽しかったけど難しかった。」  
・「色と形で自分の気持ちを表すことができそう。」  
・「早く台紙に貼っていきたい。」  
・材料用具の後片付けをする。

かすことができるようにスプレートのりをしたラミネートフィルムを利用する。自分の心にぴったりくる感じが見つかったら画用紙に接着するように伝える。

**(ラミネートフィルム)**

・困っている児童には、自分のどんな気持ちを表したいのか日常生活から思い出すことができるような声をかける。

○制作途中の工夫や感じたことを伝え、自分の作品づくりや次時の活動への意欲を高められるようにする。その際、根拠を明らかにして伝えられるようにする。  
・作品を OHC に映したらすぐに見ることができるようにピントをあらかじめ合わせておく。

**(OHC カメラ テレビ)**

○次時の予告をし、活動の見通しをたせるようにする。  
・次時は、台紙に切り取った画用紙を貼り付けて作品を完成させ、みんなで鑑賞する時間であることを確認する。